

【保健体育委員会】

令和4年度以降の活動について

保健体育委員会の活動見直しを行いました。

従来の形の区Pバレーボール大会を楽しみにされていた皆さんには、大変残念なお知らせとなりますが、新しい若林区保健体育委員会の形を考えておりますので、今後ともよろしくお願ひします。

今までの区Pバレーボールの見直し、コロナ禍の活動の考慮、各学校の委員会の状況もふまえ新しい保健体育委員会の活動を検討しました。

該当年度を担当する担当校の会長は、その前年度の役員会のメンバーになっているため、次年度の活動を検討する際、コロナ等の社会状況・担当校の状況を踏まえ「ホームページでの活動」もしくは「人を集めてのイベント活動」を行うことを検討する。それぞれの活動は、規約により「会員相互の健康保持と親睦を図る事業を行う。」を基本の考えとする。

「ホームページを活用した小さい規模の活動」

・「会員相互の健康保持と親睦を図る事業」として考えられるページ作成（講演会やWeb配信なども含む）を行う

「人を集めての大きい規模のイベント活動」

イベント活動における『活動方針』を考えました

- ① 親睦を目的として、当日集まった参加者でチームを作る競技とする
- ② 事前練習を必要としない競技とする
- ③ 年齢や性差による差が出ず、親子での参加も可能な競技とする（バリアフリー・配点の工夫など）
- ④ 無理な参加者動員を行わない（学校ごとの参加人数の要請を行わない）

※上記の活動方針を考えるに至った経緯について

「ここ数年のコロナ禍の活動の考慮」「各学校の委員会の状況（PTAの活動削減等の検討を行っている学校が多くなってきている）」さらに、従来の区Pバレーボールのあり方の検討も行いました。

従来の区Pバレーボールは参加者側と運営者側で感想に大きな差がありました。「仲間ができた」「また参加したい」等参加した方の満足度は高い一方で、運営側として関わった方の「練習などのセッティングが大変だった」等改善すべき点も見られます。それらは会長会での意見として上がったものに加え、R3年度に行われた「保健体育委員会アンケート集計結果」（詳しくは若林区P連合会HPをご覧ください）からも見る事ができます。

https://www.pta-wakabayashiku.jp/comm_health-pe.html

今後の保健体育委員会の活動が広く会員の皆さんの健康保持と会員同士の親睦、ならびに委員長校・副委員長校の円滑な活動につながることを期待します。

文責：R3年度 若林区PTA連合会 会長 加藤 伸